Network

第一節新たなネットワークづくりの潮流のなかで

多彩なライフスタイルがおりなす 多縁社会が今、 到来している

変容する「地縁」と「社縁」

景は、もうほとんど見られなくなった。 場は、もうほとんど見られなくなった。 最は、もうになって、かなりたつ。「隣の子どが少なくなっているのだ。そういえば、味噌やが少なくなっているのだ。そういえば、味噌やしょうゆ、風呂や電話を隣り同士で借りあう風しょうゆ、風呂や電話を隣り同士で借りあう風見は、もうほとんど見られなくなった。

とが背景となっている。とが背景となっている。とが背景となっている。とが背景となっている。とが背景となっている。とが背景となっている。

間関係の一部にすぎない。

・は縁(会社縁)にも、やはり変化が見られる。

・は縁(会社縁)にも、社縁は自分の多様な人

・にとってはもともと、社縁は自分の多様な人

すか、過ごせるかということが課題となってい職後の人生をいかに自分らしくいきいきと過ごさらに高齢化の進展のなかで、長くなった退

る。定年退職の日を迎えてから、はたと困惑することのないように、働き盛りのときから、仕事以外に何か打ちこめることを身につけようという人も増えてきた。高齢化が今、高齢である人だけの問題ではなく、すべての世代の問題であるゆえんだ。社縁だけに寄りかかっていては、第二の人生を安心して迎えられなくなっていると言ってもよいのである。

社会の成熟化のなかで

1人当たりの国民所得の上昇、自由時間の増生活の質が問い直される時代となっている。モライフスタイルはますます多様化・個性化し、ライフスタイルはますます多様化・個性化し、

前のことになってきているのである。 身の生活を選択し創造していくことが、当たり

では、人間関係に影響を与えずにはおかない。人びとの価値観の多様化や、個人のライフスタイルのの価値観の多様化や、個人のライフスタイルのの価値観の多様化や、個人のライフスタイルのの価値観の多様で、 はいった自分では選択できない関係よりも、自といった自分では選択できない関係よりも、自といった自分では選択できない。人びとのつきあい、

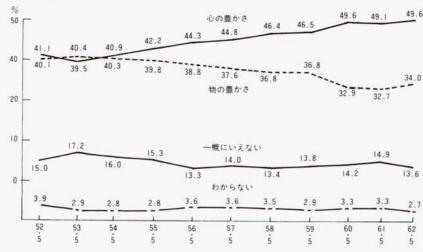
知縁によるネットワークの多様な展開

となどが明らかになっている。 選べる関係を重視するということは、つきあ 市民の活動についても言える。昭和60年度の国 市民の活動についても言える。昭和60年度の国 主的参加型へ比重を移してきていることが報告 されているし、経済企画庁の別の報告書(注) でも、従来型の地縁的活動は活動全体の2割に すぎず、また活動のエリアが広域化してきていることなどが明らかになっている。

地縁、社縁にかわって比重が高まってきたのが、こうしたデータからも分かるとおり、従来の

Network

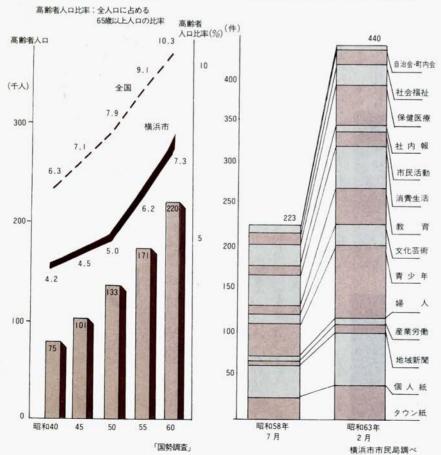
■モノの豊かさより心の豊かさを重視する人が増えてきた



「国民生活に関する世論調査」総理府

■すすむ横浜市民の高齢化

■増えるミニコミ、種類もさまざま



を高めていくにちがいない。 多縁社会の到来を示していると言えよう。 てさらに知縁へと広がってきたことは、 いくだろう。 クづくりの多様な展開も、 心の豊かさを重視する動向は、 だとすれば、 知縁によるネットワ ますますその比重 今後も続いて いわば

とが、

つくり出

した関係、

「知縁」なのである。

市民の

価値観など何らかの目的意識を共有しあう人び

誰からも強制されないで主体的に選択し

ワークである。

これは、趣味やライフスタイル

人びとの自主的活動から生まれる多様なネット

生活を支えるネットワークが、

地縁、社縁に加え

ている多種多様な知縁的活動のなかから、 (注)「コミュニティ形成に資する自由時間活動の構 かを見ていくことにしよう。

造分析調查」(昭和58年度

それでは、市内でさまざまなかたちで行われ いく